

提出資料チェックリスト

建築物環境配慮計画書の届出にあたっては、以下を参考に書類を1～12を順番に並べ、まとめて提出してください。

表 1-1 建築物環境配慮計画書及び添付図書チェックリスト(正副2部)

	計画書及び添付図書等	レ	備 考
1	建築物環境配慮計画書	☐	様式第1号 日付を確認してください。
2	委任状	☐	特定建築主等に代わって、設計者等が届出を行う場合
3	CASBEE-建築(新築)評価結果 ① CASBEE- 建 築 (新 築) 評価ソフト ② 貼り付け画像 (外観パース JPEG形式等)	☐	CASBEE-建築(新築)ソフトにより、建築物環境配慮計画書を作成してください。 作成方法の解説は、建築物環境配慮計画書作成マニュアル第2章を参照してください。 ・各シートを印刷したものを添付してください。 ・CD-R等の電子データにより提出してください。
4	重点項目の取組概要 ・CASBEE静岡 重点項目公表用ソフト	☐	CASBEE静岡 重点項目公表用ソフトにより、建築物環境配慮計画書を作成してください。 作成方法の解説は、建築物環境配慮計画書作成マニュアル第2章を参照してください。 ・各シートを印刷したものを添付してください。 ・CD-R等の電子データにより提出してください。
5	付近見取図	☐	案内図
6	配置図	☐	緑化計画や環境配慮の内容がわかるもの
7	面積表	☐	ホテル、病院の場合は、 住居・宿泊部分の比率が分かる計算表も添付
8	各階平面図	☐	環境配慮の内容がわかるもの
9	立面図	☐	環境配慮の内容がわかるもの
10	断面図	☐	環境配慮の内容がわかるもの
11	省エネ計画書の写し	☐	・建築物省エネ法の計画書・届出書で外皮性能や一次エネルギー消費量などが確認できる部分の写し
12	評価項目の根拠資料 (<u>評価結果がレベル3を超える項目及び計算により評価する項目</u>)	☐ ☐ ☐	・根拠資料の右下に評価した項目の番号を記入お願いします。(例:Q1 1.1.1 室内騒音レベル) ・根拠資料には根拠がわかる部分を四角で囲むなどマーキングをお願いします。 ・同じ資料を複数の項目の根拠資料として用いる場合は、原則各項目の根拠資料としてそれぞれ添付をお願いします。

※ 計算根拠等が必要な項目の例(その他の項目についても、根拠資料を求める場合があります。)

【昼光率】

昼光率(CASBEE-建築(新築)評価マニュアル Q-1/3.1.1参照)が確認できる計算書を提出してください。

【空間の形状・自由さ】

壁長さ比率(CASBEE-建築(新築)評価マニュアル Q-2/3.1.2参照)が確認できる計算書を提出してください。

【耐震性】

構造計算概要書等、耐震性能(地域係数 $Z_s=1.2$ 、用途係数 $I=1.25$)が確認できる計算書を提出してください。

【緑化関係】

以下の項目のポイントを取る場合は、計画内容が確認できる図面(緑化計画図、配置図、立面図等)に計算が確認できるよう寸法・面積等を記載して提出してください。

Q3-1 生物環境の保全と創出

Ⅲ1)外構緑化指数 2)建物緑化指数

Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上

I 2)空地率 II 1)水平投影面積率

Ⅲ1)緑被率、水被率、水平投影面積率 2)舗装面積率

IV1)屋上緑化面積 2)外壁面对策面積率

LR3-2.2 温熱環境悪化の改善

II 2)②見付面積比 ③隣棟間隔指標 3)①地表面対策面積率 4)①屋根面对策面積率 ②外壁面对策面積率

【太陽光発電・太陽熱給湯】

太陽光発電等を導入する場合は、計画内容が確認できる資料(平面図・設置状況が確認できる仕様書・系統図・発電量シミュレーション結果 等)を提出してください。

【光害】

光害対策ガイドライン「良い照明環境を得るためのチェックリスト」「広告物照明における配慮事項」(CASBEE-建築(新築)評価マニュアル LR-3/3.3.1)による評価結果を提出してください。

なお、建築物環境配慮計画書作成マニュアル「第2章4. 参考資料(4)光害対策ガイドライン」にあるチェックリストをコピーして使用できます。